

白山ひとことブック制作

団体名 ● 石川ゼミナール (2年) / 代表者名 ● 石川美澄 (経済学部経営学科・准教授)

はじめに

石川県白山市は、全域が白山手取川ジオパークとして日本ジオパークに認定されている。ジオパークは大地・地球(Geo)とパーク(Park)を組み合わせた造語であり、自然公園の一種である。その特徴は、地質や地形等の資源から地球の営みを理解したり、ダイナミックな景観を楽しめたりする点にある。また、大地や地球の営みとめぐみは、その地域の生態系や文化・歴史・産業と深く結びついている。例えば白山市では、湧水を使った暮らしや食文化、霞堤の造成等が挙げられる。

本活動の目的は、白山手取川ジオパークのジオストーリーに関連する人(企業や組織含む)、モノ(物品・サービス)、コト(歴史、文化、現象、体験)の魅力を紹介する冊子(以下、白山ひとことブックとする)を完成させることである。白山ひとことブックを通じて、白山市の企業活動や文化等がジオの恩恵を受けて成立していることを多くの若者に知ってもらい、ジオパークに親近感をもってもらうことを活動目標とした。



手取川扇状地と霞堤 (2022年6月石川撮影)

活動内容

本ゼミナール(経営学科2年生20名)では、5つのグループをつくり、それぞれにターゲットやエリア、メインとなる地質等の資源を定め、現地訪問や事業者に対するヒアリングを実施した。なお、活動時期は2022年5～8月までの約4ヶ月間である。

成果、結果の考察

今回の活動結果を表1にまとめた。活動を始めた当初は、一般的なフォトブックを使用した試作品(紙媒体)を完成させ、それを白山市役所の方々に提示しながら企画意図や内容等を発表する計画を立てていた。しかしその後の同市との話し合いで、市が紙資源の削減を重視していることと観光パンフレット等も電子データでの配布を目指していることを伺った。そこで、本活動ではクラウドサーカス(株)が提供する電子ブック<ActiBook>を使用することとした。

表1：白山ひとことブックのテーマと活動概要

班名	テーマと活動概要
1	白山市の温泉/ヒアリング・撮影
2	各白山麓の天然水と草木/ヒアリング・撮影・体験
3	ジオパークと遊べるスポット/ヒアリング
4	ジオパークと体験観光/ヒアリング・撮影
5	木材加工/ヒアリング・撮影



インタビューの前に看板を確認する学生たち
(2022年7月石川撮影)

今後の課題、展開

今回制作した白山ひとことブックは、白山市のみなさんに広く公開できるまでの完成度には至らなかった側面がある。今後は、より質の高い媒体づくりに挑戦し、地域への成果還元を目指したい。

謝辞

現地調査にご協力いただきました白山市内の事業者の皆様と白山市役所に心からお礼申し上げます。